

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成26年9月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:120)
2. 調査実施時期 平成26年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%))-(回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:105社 / 回答率:87.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	-59	-53	-52	-	-	-
H26.3	-	-51	-61	-57	-	-
H26.6	-	-	-17	-28	-30	-
H26.9	-	-	-	-9	-13	-11

原木在庫量(「製材・木材チップ工場動態調査」より)

(m3)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	115,438	144,249	169,989	-	-	-
(前年)	152,841	173,072	158,997	150,082	115,438	144,249
対前年比	76%	83%	107%	-	-	-

(概況)

不足感は概ね解消されており、原料在庫は昨年と概ね同水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木の単価が少しずつ上がっている／潤沢に入荷予定／原料はそこそこ入荷している／不足感なし／工場土場の貯材は見た目より多くならない

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	71	48	3	-	-	-
H26.3	-	42	21	6	-	-
H26.6	-	-	23	11	-1	-
H26.9	-	-	-	18	-6	-27

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より)

(m3)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	223,716	182,082	208,773	-	-	-
(前年)	207,331	166,827	210,223	221,576	223,716	182,082
対前年比	108%	109%	99%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年の水準をやや上回っているものの、今後は減速していく見通し。

(回答企業の主なコメント)

グリーン材の荷動きが悪い／乾燥材は動いている／外材製品過剰／土木資材の生産が追いつかない／仮設材が増加気味／一般建築材はさほど忙しくない／住宅着工減の影響が出てきている様子

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	-63	-61	-63	-	-	-
H26.3	-	-56	-69	-66	-	-
H26.6	-	-	-43	-38	-26	-
H26.9	-	-	-	-6	-13	-10

原木在庫量(「製材・木材チップ工場動態調査」より)

(m3)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	172,795	225,777	245,464	-	-	-
(前年)	242,441	276,500	248,342	214,987	172,795	225,777
対前年比	71%	82%	99%	-	-	-

(概況)

不足感は概ね解消されており、原料在庫は昨年と概ね同水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

合板材単価が少し下がったが、動きは良い／出材は天候不順により遅れている／

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数

(太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	59	55	12	-	-	-
H26.3	-	72	45	25	-	-
H26.6	-	-	46	29	6	-
H26.9	-	-	-	35	8	-14

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より)

(m3)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	280,344	271,336	318,689	-	-	-
(前年)	264,533	272,583	293,145	280,925	280,344	271,336
対前年比	106%	100%	109%	-	-	-

(概況)

荷動きは落ち着きを取り戻しつつあるものの前年を上回る水準。ただし、今後は減速していく見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木さえ集められればかなり良い状況／梱包材の受注は横ばいで行くと思われる／集成材原板の注文が停滞しつつある／納期短くなってきている／